

新学習指導要領に対応した学習評価 (小学校 特別活動)

文部科学省 初等中等教育局
教育課程課教科調査官

安部恭子



目次

はじめに

1. 特別活動における評価の観点と趣旨
2. 内容のまとめりと評価規準
3. 学習評価について
 - ・評価の手順 等
 - ・児童指導要録における特別活動の記録
 - ・学習評価に関する事例

はじめに

学習評価の改善の基本方針

学校における働き方改革が喫緊の課題となっていることも踏まえ、次の基本的な考え方に立って、学習評価を真に意味のあるものとすることが重要。

- ① 児童の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、
必要性・妥当性が認められないものは見直
していくこと

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例

特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、各学校が評価の観点を定める

改善等通知の別紙4の例示をもとに**具体的に観点を定めた例**

観 点	よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
趣 旨	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例

特別活動における資質・能力の視点（「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」）をもとに重点化を図った例

観 点	集団や社会に参画するための 知識・技能	協働してよりよい生活や人間関係を 築くための思考・判断・表現	主体的に目標を立てて 共によりよく生きようとする態度
趣 旨	多様な他者と協働し、集団の中で役割を果たすことの意義や、学級・学校生活を向上する上で必要となることを理解している。 よりよい生活づくりのための話し合いの手順や合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	多様な他者と協働して、よりよい生活や人間関係を築くために、集団や個の生活上の課題について話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりして実践している。	学級や学校の一員としてのこれまでの自分を振り返り、なりたい自分に向けて目標をもって努力し、他者と協働してよりよく生きていこうとしている。

特別活動の「評価の観点」とその趣旨の設定例

社会参画に重点化を図った例

観 点	多様な他者と協働 するために必要な 知識・技能	集団や社会を よりよくするための 思考・判断・表現	主体的に集団活動や生活を よりよく しようとする態度
趣 旨	学級・学校生活の充実のために主体的に参画することの意義や、そのための話し合いの手順を理解している。 学級会等における合意形成の図り方などの技能を身に付けている。	学級・学校生活の充実・向上のために課題を考え、話し合い、集団としての解決方法を合意形成を図って決定したり、自分の実践目標を意思決定したりしている。	学級・学校の生活の改善・充実を図るために、多様な他者のよさを生かし、協働して実践しようとしている。 なりたい自分を目指し、これまでの自分を振り返り、これからの集団活動や生活に生かそうとしている。

「内容のまとめりごとの評価規準」の作成

〔小学校特別活動における内容のまとめり〕

学級活動… (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

児童会活動

クラブ活動

学校行事… (1) 儀式的行事, (2) 文化的行事, (3) 健康安全・体育的行事,
(4) 遠足・集団宿泊的行事, (5) 勤労生産・奉仕的行事

「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

学習指導要領の「各活動・学校行事の目標」及び学習指導要領解説で例示した「各活動・学校行事における育成を目指す資質・能力」を参考に、**各学校において育成を目指す資質・能力**を重点化して設定する。



観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

観点ごとの評価規準作成のポイント

○「知識・技能」のポイント

- ・「知識・技能」は、**話合いや実践活動における意義の理解や基本的な知識・技能の習得**として捉える。
- ・学習指導要領解説における資質・能力の例に示されている内容の意義を確認する。
- ・文末を「**～を理解している、～を身に付けている**」とする。

評価規準作成のポイント

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は、話合いや実践活動における、習得した基本的な知識・技能を活用して課題を解決することと捉える。
- ・「表現」は、これまでと同様に言語による表現にとどまらず、行動も含んで捉えることとする。
- ・文末を「～している」とする。

評価規準作成のポイント

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、自己のよさや可能性を発揮しながら、主体的に取り組もうとする態度として捉える。
- ・目標をもって粘り強く話合いや実践活動に取り組み、自らの活動の調整を行いながら改善しようとする態度を重視することから、「見通しをもったり振り返ったりして」という表現を用いる。
- ・文末を「～しようとしている」とする。

「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

学級活動については、発達の段階に即し、**低・中・高学年ごとに評価規準を作成**することが考えられる。

【学級活動 (1)〔第1学年及び第2学年の例〕】

よりよい生活を 築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しむために他者と協働して取り組むことの意義を 理解している 。 話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を 身に付けている 。	学級生活を楽しむために、問題を発見し、解決方法について話合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って 実践している 。	学級生活を楽しむために、 見通しをもったり振り返ったり しながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に 取り組もうとして いる。

評価規準の作成と「目指す児童の姿」の設定

第2編を活用

各活動・学校行事ごとの評価規準の作成



1単位時間の指導計画

「目指す児童の姿」を具体的に複数設定

評価の手順

①指導と評価の計画の作成

- ・特別活動の全体計画及び各活動・学校行事ごとの指導と評価の計画を作成する。

②評価のための基礎資料の収集

- ・計画に基づいて、評価のための基礎資料を収集する。

③評価の実施

- ・収集した資料を各学校で定めた所定の手続きにしたがって多面的・総合的に判断し、評価を行う。

④評価体制の改善

- ・評価結果を各学校における指導や評価体制の改善に生かす。

評価する際の留意点

- 評価体制を確立し、**学校全体で共通理解**を図る。
- 児童の**よさや可能性**を多面的・総合的に評価する。
活動の結果だけでなく、**活動の過程**における児童の**努力や意欲**などを積極的に認める。
- 評価を通じて、教師が自己の指導の内容や方法、指導過程等を振り返り、より効果的な**指導**が行えるように**工夫改善**を図る。

評価体制の確立

学級活動

主として学級担任が事前から事後の振り返りまでの児童の活動の様子から、積極的によさや可能性を見取るようにする。

児童会活動，クラブ活動，学校行事

評価に必要な資料を収集する方法を工夫するとともにそれらが学級担任の手元に届き、活用されるようにする。

学 級 担 任

個々の児童の活動状況について、学級担任と担当する教師との間で情報交換を密にする。

学級担任以外の教師

児童指導要録への記入例〔年度当初：5年生の例〕

特 別 活 動 の 記 録									
内 容	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6	
学級活動	○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度								
児童会活動									
クラブ活動									
学校行事	余 白								

- ・各学校で設定した観点を記入します。
- ・全学年に共通した評価の観点を設定します。

※観点の変更がある場合を想定して余白を設けておきます

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料p 41 参照

児童指導要録への記入例〔年度末：5年生の例〕

特 別 活 動 の 記 録									
内 容	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6	
学級活動	○よりよい生活を築くための知識・技能 ○集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 ○主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 余 白		・各活動、学校行事ごとに、「十分満足できる活動の状況にある」と判断される場合に○印を記入します。 ・特別活動は、担任以外の教師が指導することも多いことから、評価体制を確立し共通理解を図って子供たちのよさや可能性を多面的総合的に評価することが求められます。				○		
児童会活動							○		
クラブ活動									
学校行事							○		

・各活動、学校行事ごとに、「十分満足できる活動の状況にある」と判断される場合に○印を記入します。

・特別活動は、担任以外の教師が指導すること多いことから、**評価体制を確立し共通理解を図って子供たちのよさや可能性を多面的総合的に評価**することが求められます。

総合所見及び指導上参考となる諸事項への記載

小学校等における総合所見及び指導上参考となる諸事項については、児童の成長の状況を総合的に捉えるため、以下の事項等を文章で箇条書き等により端的に記述すること。（以下略）

- ①各教科や外国語活動，総合的な学習の時間の学習に関する所見
- ②特別活動に関する事実及び所見
- ③行動に関する所見（以下略）

指導要録の「特別活動の記録」に○印を付けた具体的な活動の状況等については、「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に簡潔に記述することで、評価の根拠を記録に残すことができます。

特別活動の事例の特徴

◇特別活動の事例の特徴

特別活動は、全校又は学年を単位として行う活動があり、また、学級担任以外の教師が指導することもある。このため、本参考資料（特別活動編）においては、学習指導要領に示された各活動・学校行事ごとに工夫例を交えながら評価の進め方や留意点等について記述している。

○1単位時間や年間の指導と評価の計画を示している

本参考資料で提示する事例は、いずれも、各活動・学校行事における議題や題材、活動の一つを例にとり、1単位時間の指導計画を示すとともに、「**内容のまとめりごとの評価規準**」に即して、本時における「**目指す児童の姿**」の例を具体的に示した。

特別活動の事例の特徴

また、事前から事後までの一連の学習過程を指導案の形で表し、「目指す児童の姿」を本時の展開の中で具体的に示している。

○評価方法の工夫を示している

各活動・学校行事において、学級会ノートやワークシート、活動の振り返りなどを活用した評価方法や補助簿を活用した評価方法などを資料として提示するなど、特別活動の特質を踏まえ、評価方法の多様な工夫について示している。

特別活動は、全校又は学年を単位として行う活動があり、また、学級担任以外の教師が指導することもある。そこで、学級担任と担当する教師との連携の在り方についても示している。

特別活動の事例の特徴

○総括する評価について示している

特別活動は、各教科のように**観点ごとの評価（ABC）**や**評定はなく**、指導要録において、観点を踏まえて、各活動・学校行事ごとに児童の取組を総括的に評価するものである。

学級活動については、学級活動（１）（２）（３）の各活動における評価を総括する仕方など、評価を総括する例を示すとともに、学習カードを活用した評価の工夫例や、年間を通じた評価結果を蓄積する工夫例についても示している。

各事例の概要について（第3編）

学級会ノートを活用した評価の工夫例

【資料① 学級会ノート（表）】

第12回 学級会ノート		○月 ○日 () ○校時
5年 2組 番 名前		000 000
議題	5年生ががんばったね集会をしよう	
提案理由	5年2組のみんなが4月からがんばってきました。1年間のがんばりをみんなで認め合い、嬉しさを分かち合える会をすることで、さらにみんなが仲良くなり、これからはがんばろうという気持ちになると思っ提案しました。	
決まっていること	日時・・・月 日の 時間目 場所・・・教室 ゲームは1つ、それ以外1つ。	
司会グループ	司会 黒板記録 ノート記録	
話し合うこと	自分の意見（理由もしっかり書くこと）	
(1) 何をするか。	【意見・理由】 思い出すところ すくすくマスに5年2組ががんばってきたことを書くといいたいから。	
(2) がんばりを認める工夫は何か。	【意見・理由】 音楽会で歌った曲を歌う 音楽会に向けてたくさん練習した思い出の曲をみんなで歌えば、みんなのがんばりを思い出すことができるから。	
(3) どんな役割が必要か。	【意見・理由】 プログラム係 前もってプログラムを作って掲示して、みんなのワクワク感を高めたいから。	
☒ 提案理由や話し合いのめあてにそって、話し合うことができました。 ☒ 友達の見解のよいところを考えながら聞くことができました。 ☒ 自分の意見を述べて発表できました。 ☒ 決まったことや自分がこれから何をしたらよいのか分かりました。 ☒ がんばりを認める工夫について考え、みんなでまとめることができました。		
★今日の話し合いをふり返って 提案理由を踏まえて話し合うことができました。さの思い出すところのマスに取り入れるという意見のよいところを合わせて、みんなが納得するまでわがで決めることができました。よかったです。		
★決まったことや自分の役割について、これからがんばりたいこと プログラム係になったので、楽しいプログラムを作りたいです。みんなで思い出すところを楽しんで、さらにみんなで仲良くなりたいです。		

【知識・技能】
提案理由の「がんばりを認める」という活動の意義を理解し、その達成のために意見を考えている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

話し合い活動の振り返りとして、3段階で振り返ること、児童自身の自己評価の力を高めたり、【思考・判断・表現】の評価の参考にしたりする。

【思考・判断・表現】
解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図ろうとしている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

事例1 学級活動（1）の指導と評価の計画から評価の総括まで

「がんばったね集会をしよう」（ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決）

第5学年の集会活動を議題とした話し合い活動や実践活動について1単位時間の指導計画例（指導事例）を示すとともに、学級会ノートの評価の参考とした工夫例を示した。また、年間を通じて評価結果を蓄積する評価の工夫例についても示した。

各事例の概要について（第3編）

年間を通じて評価結果を蓄積する工夫例

（3）年間を通じて評価結果を蓄積する工夫例

次の資料は、教師の観察や学習カードの記入を参考に、機会を捉えながら評価し、それを記録するためのものである。ここでは、学級活動（2）、（3）においては、「現在の生活上の課題」「現在及び将来を見通した生活や学習の課題」という違いはあるが、基本的な学習過程が同じであることを踏まえ、同じ補助簿を用いて、評価結果を蓄積していく例である。

〈資料③ 補助簿の例〉

		知識・技能の評価 学習カードの記述や実践の様子から生活や学習に必要な知識・技能を身に付けているか等を見取る。	思考・判断・表現の評価 話し合いで出された考えを踏まえ、自分の課題に合った具体的なめあてを立てているか等を見取る。	主体的態度の評価 実践の様子や実践後の様子から、見通しをもって活動しようとしているか粘り強く活動しようとしているか等を見取る。	メモ	総括
1	A	○	○	○	7/15 自分に合っためあてを立てている。	○
学級活動（2）「見直そう ゲームの時間」において、自分の課題に合った具体的なめあてを設定するなど、十分満足できる活動の状況だったため○が付いている。			○	○	4/11 4年生の生活を見通した目標を設定していた。	
			○○	○	5/13 具体的なめあてを設定し、進んで挨拶をしていた。 9/11 ゲームをする時間について具体的な行動目標を設定していた。	○
4	D	○			11/13 家庭学習ノートの使い方が向上した。	
5	E		○		12/21 インフルエンザの予防方法を理解し手洗いを心がけている。	

【メモによる評価の蓄積】

○を付けて評価した児童の姿を記録しておくことも考えられる。メモを蓄積することで、総合所見及び指導上参考となる諸事項に書く際に生かすことができる。

【学級活動（2）（3）の総括について】

総括して○を付ける際には、学校で統一した方法を予め設定しておく必要がある。例えば、上記の表のように知識・技能に○が付いていなくても、思考・判断・表現、主体的態度において、複数○が付いている場合、総括においても○を付けることも考えられる。

事例2 学級活動（2）の指導と評価の計画から評価の総括まで

「見直そう！ゲームの時間」（ア 基本的な生活習慣の形成）

第4学年「見直そう！ゲームの時間」を題材として、1単位時間の指導計画を示すとともに、学習カードを評価の参考とした工夫例や、年間を通じて評価結果を蓄積する工夫例を示した。

各事例の概要について（第3編）

事前のアンケートを活用した例

〈資料② 「6年生に向けて」 アンケート〉

学級活動(3)「6年生に向けて」アンケート

5年 組 番 名前

3ヶ月後には、6年生になりますね。そこで、次のアンケートに答えてください。

1. 6年生になるのは楽しみですか。

ア. すごく楽しみ
イ. 楽しみ
ウ. あまり楽しみではない
エ. 楽しみではない

ア

2. 1で、答えた理由を教えてください。

6年生は、最高学年として、校舎にもあると思うので、1年生のお世話係りや委員会活動で5年生をサポートする立場になるので、自分もお世話係りになった6年生のようになりたいと思うからです。

3. 今年の6年生で「すごいな」と感じたことはありますか。

ア. ある
イ. ない

ア

4. 3で、「ある」と答えたのは、どんなことですか。

応援団長の〇〇さんがすごいなって思いました。好でも、応援団長になって白組リードは大声で応援していて、応援賞をとったときに涙を流しながら笑顔でたのびた感じがよかったです。

5. 6年生になったらがんばりたいと思うことは、何ですか。自由に書いてください。

団長になるのはむずかしいと思うけど、私も応援団長になって自分の組をリードし運動会を盛り上げたいと思っています。今年の6年生がいそれに負けなぐらいの運動会を私達もつっていきなさいと思います。

【主体的態度】

この児童は6年生になるに当たっての期待感を抱いているとともに、今年の6年生のように運動会でリーダーシップを発揮し、よりよい運動会をつくっていきなさいと、今後の学校生活に向けて意欲をもって取り組もうとする姿勢が見られることから、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

事例3 学級活動（3）の指導と評価の計画から評価の総括まで

「6年生に向けて」（ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成）

第5学年「6年生に向けて」を題材として、1単位時間の指導計画例を示すとともに、学習カードや事前のアンケートを評価の参考とした工夫例や年間を通じた評価結果を蓄積する工夫例を示した。

各事例の概要について（第3編）

補助簿をもとに学級活動全体を総括して評価し、児童指導要録に○を付ける方法の例

各女跡に○を付ける方法の例を示す。

学級活動 (1) 補助簿

		知・按	思・判・表	主修の態度	メモ	連絡
	名前	いふと語め合ひをの理屈解めしやて	りたししりたまきもしるゝ朝よあまの言上をし来したしか	59 協内、 組織の改善 もしのびた に教へられ て的友とい はれし者を取 返す		
1	A	○	○	○	7/10 集会の準備を休みの時間に二重野田にいそめられたのを聞いていた。	○
2	B	○	○	○	8/17 学級会では、みんなが納得するアイデアを改善案として発表していた。	○
3	C					
4	D			○		
5	E	○ ○	○ ○	○	6/3 準備会したりアイデアを考えたりと主体的に頑張った。みんなをうまくまとめる力もかなり伸びた。却つた意見でもかきつけて意見を聞き取りしていった。	

学級活動 (2) (3) 補助簿

		知・技	思・判・表	主体的態度	メ モ	総括
1	A	○	○	○	7/15 百分に合っためあてを立てている。	○
2	B			○	4/7/1 4年生の生活を見通した目標を設定していた。	
3	C		○○	○	5/13 主体的なめあてを設定し、進んで換算をしていた。 9/11 ゲームをする時間について具体的な行動目標を設定していた。	○
4	D	○			11/13 家庭学習ノートの使い方が向上した。	
5	E		○		12/21 インフルエンザの予防方法を理解し手洗いを心がけている。	

児童指導要録に○を付ける例

	(1)	(2) (3)	兒童指導要録
名前			
A	○	○	○
B	○		
C		○	
D			
E	○		○

A児のように、学級活動(1)及び(2)(3)のどちらも○となった場合、児童指導要録に○を付ける。

E児のように、学級活動(2)(3)の補助席において総括に○を付けていない場合でも、学級活動(1)の活動において、多くの場面で創意を生かして話し合ったり、友達と協働し、意欲的に取り組んだりしていたことから、児童指導要録に○を付けることも考えられる。

◇「学級活動の（１）（２）（３）の評価を 総括して児童指導要録に○を付ける工夫例」

学級活動（１）（２）（３）を総括して児童指導要録に○を付けるための工夫例を示した。

各事例の概要について（第3編）

保健委員会の年間指導計画例

1 保健委員会の年間指導計画例			
	日常活動	創意工夫を生かした活動	指導上の留意点
一学期	○保健委員会の計画や運営 ・活動計画 ・役割分担 ○日常の活動内容 ・石鹸の詰め替え ・トイレトペーパーの補充 等	○歯みがきの励行(放送・集会) ○歯みがきカレンダーの作成 ○手洗い・うがい標語・ポスターの募集等 ○健康かるたの作成 ○インフルエンザ予防集会	・保健委員会のねらいに基づき、児童が話し合っ て活動計画を立てることができるようにする。 ・保健委員会の日常の活動内容について話し合い、 協力して取り組むことができるようにする。 ・計画や運営の仕方を理解して、自分たちで進行で きるようにすることにより、児童が主体的に保健 委員会の活動に参画できるようにする。 ・健康に関わる学校生活の課題(例：風邪の予防・ むし歯予防・けがの未然防止など)を改善するた めに、どんな取組が必要か、児童の発意・発想を 生かして話し合うことができるようにする。 ・一部の児童に役割が偏らず、全員で協力して分担 できるようにする。
二学期			
三学期	準備	活動の流れ ○話し合い(活動計画の作成) ・活動のめあて・集会の内容 ・役割分担 ○決定内容の連絡 ○集会の準備、練習	◎目指す児童の姿【観点】(評価方法) ◎インフルエンザの予防の大切さが伝わる工夫について話し合い、意見をまとめている。 【思考・判断・表現】(観察)
	児童会集会活動	インフルエンザ予防集会 1 はじめの言葉 2 保健委員のあいさつ 3 咳エチケット・手洗いの劇 4 インフルエンザ予防クイズ 5 終わりの言葉	◎協力して劇やクイズに取り組もうとしている。 【主体的態度】(観察) 
	振り返り	○活動の成果や課題の確認 ・がんばったこと ・友達のよさやがんばり ・次への課題	◎集会活動における自分の役割や参加の仕方などを振り返り、成果や課題を次回の活動に生かそうとしている。 【主体的態度】(集会活動ががんばりカード)
○1年間の振り返りをする ・活動を振り返り、自己評価・相互評価したことを次の活動に生かせるように助言する。 ・児童の活動のよさやがんばりを称賛し、次の活動の意欲付けをする。			

事例4 児童会活動の指導と評価の計画から 評価の総括まで

「保健委員会」

保健委員会の指導と評価の年間計画例と児童会集会活動の指導計画例や、担当する教師の補助簿や児童の活動記録を評価に活用する工夫例、担当する教師から学級担任へ伝える工夫例について示した。

各事例の概要について（第3編）

児童が作成するダンスクラブの 年間活動計画例

2 児童が作成するクラブ活動の年間活動計画例（ダンスクラブの例）

(ダンス)クラブ 年間活動計画		担当の先生 △△先生	活動場所 体育館	人数 25人
部長	副部長	記録		
6-1 000	6-2000・5-10000	5-20000・4-10000		
クラブのめあて		みんなで楽しく踊れるように協力して活動する。		
回	日付	主な活動内容	準備する物	役割分担など
1	4/25	1年間の計画・組織づくり	・クラブ活動ノート ・計画表 ・前年度の計画表	司会：部長 副部長
2	5/11	ダンスの曲や振り付けについての話し合い	・クラブ活動ノート ・パソコン・CD ・ラジカセ	司会：部長 副部長
3	5/25	グループ別練習	・クラブ活動ノート ・タブレット・CD ・ラジカセ	司会：Aグループ

（留意事項）

- 教師は、児童自身がクラブ活動を楽しむために、創意工夫をしたり、協力して役割分担したりするなど、楽しいクラブづくりに連んで参画できるような組織的な指導に努める。
- クラブ活動の内容は、クラブ活動の目標を達成するためにふさわしいものとなるように指導するとともに、児童の負担過重にならないよう配慮する。
- 物品の購入や施設の利用の変更など児童の自主的な活動として任せることのできない条件を明確にして指導に当てる必要がある。

事例5 クラブ活動の指導と評価の計画から 評価の総括まで

「ダンスクラブ」

ダンスクラブを例に、指導と評価の年間指導計画、クラブを楽しむ活動及びクラブ発表会の活動の流れと目指す児童の姿や、教師の補助簿やクラブ活動ノートを活用した指導と評価の工夫例、担当する教師から学級担任へ伝える工夫例について示した。

各事例の概要について（第3編）

学習カードを活用した評価の工夫例

事例6 学校行事の指導と評価の計画から評価の総括まで

「遠足・集団宿泊的行事」

学校行事の指導と評価の計画例を示すとともに、遠足・集団宿泊的行事の「宿泊学習」の指導計画例と、学習カードを活用した評価の工夫例を示した。

<資料① 宿泊学習がんばりカード>

宿泊学習 がんばりカード 9月13日 5年1組 名前 ○○ ○○	このがんばりカードを「キャリア・パスポート」とすることも考えられる。
この学校行事の目標 ①集団生活の仕方やルールやマナーを身に付ける。 ②集団生活のあり方について考え、共に協力して取り組む。 ③自然に親しみながら、積極的に野外活動に取り組む。	
この学校行事で大切にしたいこと 深い宿泊学習になお、自分の係に責任をもて取り組む。	【知識・技能】 学校行事の意義を理解しているかを見取る。この児童の場合、話し合い、合意形成したことを生かし「集団生活の在り方」について自分のめあてを立てていることから十分満足できる活動の状況であると考えられる。
自分のめあて みんなが楽しめるようなキャンプアワーを企画します。	【思考・判断・表現】 感想の中で「めあてに向かって自分の役割に取り組んでいること」や「共に協力しながら取り組んでいること」などの観点で記述していることから、十分満足できる活動の状況であると考えられる。
自分を振り返ってみよう ・みんなと生活する中でルールやマナーを身につけて生活できましたか。(○ ◎ △) ・自然の教室で、共に協力して取り組むことができましたか。(○ ◎ △) ・自然に親しみながら、積極的に活動することができましたか。(○ ◎ △) ・自然の教室の中で自分のめあてに向けて取り組みましたか。(○ ◎ △)	【主体的態度】 学校行事の意義を考え、成果や課題からこれからの学校生活に生かせることを考え、まとめていることから十分満足できる活動の状況であると考えられる。
感じたこと・学んだこと・これから生かしたいこと 初めての自然教室で長くみんなと一緒にいることが初めてでしたが、お互いに声をかけ合いながら楽しく活動できました。キャンプアワーでは準備したお楽しみを説明でき、楽しく盛り上げることができました。○○さんが、野営準備の時に、作業の時間をみんなががんばって、物事を進めているのが、よく分かって、みんなが宿泊生活に協力してくれました。私もこれに一生懸命になり、その時間を大切にすることができました。これから学校生活でも意識して生活していきたいです。	
書くことができない児童には、学校行事に取り組んでいる様子の写真や動画をを用いて一連の活動を想起できるようにする。また、記述する前に感想をお互いに伝え合う相互評価場面を設定した後に記述することも考えられる。	

各事例の概要について（第3編）

学級活動(1)における発達の段階に即した活動形態別の評価規準例

学級活動(1)における発達の段階に即した活動形態別の評価規準例

学級活動(1)は、児童の自発的、自治的な集団活動の計画や運営に関わるものであり、その活動形態として「話し合い活動（学級会）」、「係活動」、「集会活動」の三つがある。これらの活動が、発達の段階に即した教師の適切な指導の下に行われるようにすることが重要である。そのために、学校として次のような「活動形態別の評価規準」を低・中・高学年の発達の段階に即して設定しておくことが考えられる。

活動形態	学年	指導のねらい	発達の段階に即した活動形態別の評価規準		
			よりよい生活を 築くための役割・活動	集団や社会の 形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や 人間関係をよりよく しようとする態度
話し合い活動（学級会）	低学年	○教師の適切な指導の下で、学級生活を楽しくする議題を選定できるようにする。 ○教師の助けを得ながら、話し合い活動の準備ができるようにする。 ○学級会ノートに記入するなど見通しをもち、取り組むことができるようにする。	・学級会の役割、基本的な進め方を理解し、話し合いの仕方を身に付けている。	・議題について自分の考えをもち、話し合いの順番などに沿って考え、表現している。	・学級生活を楽しくするために、見通しをもち振り返りながら話し合いの準備に取り組もうとしている。
	中学年	○教師の助言を受けながら、楽しい学級生活をつくるための議題を選定できるようにする。 ○教師の適切な指導の下に児童が活動計画を作成し、進捗を分担して行い、話し合い活動の準備ができるようにする。 ○提案理由を踏まえて考えを学級会ノートに記入するなど、話し合いに見通しをもち、取り組むことができるようにする。	・学級会の意義や計画委員会の役割、計画的な進め方などを理解し、話し合いの方法を身に付けている。	・議題について自分の考えをもち、話し合いに見通しをもちながら考え、表現している。	・楽しい学級生活をつくるために、見通しをもち振り返りながら計画委員会の活動や話し合いの準備に取り組もうとしている。
	高学年	○教師の助言を受けながら、楽しく豊かな学級や学校生活をつくるための議題を選定できるようにする。 ○教師の助言を受けながら、児童自身が活動計画を作成し、進捗を分担して行い、話し合い活動の準備ができるようにする。 ○学級全体のことを考え提案理由を踏まえて考えを学級会ノートに記入するなど、話し合いに見通しをもち、取り組むことができるようにする。	・学級会の意義や計画委員会の役割や合意形成の手順など、効率的な進め方を理解し、身に付けている。	・議題について自分の考えをもち、合意形成の手順を見通して考え、表現している。	・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもち振り返りながら計画委員会の活動や話し合いの準備などに取り組もうとしている。

※資料（参考）

- ◇ 学級活動年間指導計画例
- ◇ 係活動の評価の工夫例
- ◇ 学級活動(1)における発達の段階に即した活動形態別の評価規準例
- ◇ 学習過程の活動に即して評価の観点を重点化した例
- ◇ 指導に生かす評価
- ◇ キャリア教育の充実を図る特別活動の実践

学級活動（１）の本時の展開における教師の指導計画例

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 はじめの言葉 2 計画委員の自己紹介 3 議題の確認 4 提案理由や話合いのめあての確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。 ・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。 話合いのめあて 「がんばったことを振り返ることができる集会の内容と工夫を考えよう。」	提案理由・話合いのめあて・決まっていることについて、児童の活動計画に具体的に書かれている場合は、教師の指導計画には省略することも考えられる。
5 決まっていることの確認	・決まっていることを確認する。 ①日時…○月○日○時間 ②場所…教室 ③ゲームで1つ、それ以外で1つ	プログラムを示すことも考えられる。
6 話合い 話し合うこと① 「何をするか。」 話し合うこと② 「がんばりを認め合う工夫はどうするか。」 話し合うこと③ 「どんな係が必要か。」	・司会が進行に困った時は方向性を示唆し、児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自治的活動の範囲を超えそうな場合は、適切に助言する。 ・必要に応じて、自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・これまでの集会の経験をもとに必要な係については事前に短冊を用意しておき、今回新たに必要に係について話し合う。	◎これまでの集会活動の経験を生かしたり、友達の意見のよさを生かしたりして、がんばったね集会の内容や工夫について考えている。 ◎みんなががんばったことを認め合う内容はどれがよいか根拠を明確にしながら発言したり、友達の意見と比べて聞いたりしている。 【思考・判断・表現】 (発言・観察)

学習過程に即して評価の観点を重点化し、効果的で効率的な評価となるようにする。

例えば、学級活動（１）の本時の活動においては、児童同士の話し合いを大切にしていることから、【思考・判断・表現】の観点について重点的に評価することが考えられる。

具体的な「目指す児童の姿」を複数設定し、「十分満足できる活動の状況」であるかどうかを的確に見取ることができるようにする。

学級活動（２）の本時の展開における教師の指導計画例

6 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	◎ 目指す児童の姿 【観点】（評価方法）
		T1（学級担任）	T2（養護教諭）		
導入 つかむ (10)分	1 事前のアンケートを見て気付いたことを話し合う。	・ゲームに関する学級全体の課題を確認し、課題解決への必要感を高める。	・スライドでアンケート結果を表示する。	集計結果	
	2 ゲームのやりすぎによる問題点を考える。	T1・T2の役割を明確にするとともに、ともに授業を考えることが大切である。 ゲームの時間を守るようにするためにどのようにしたらよいか考えよう。			
展開 さぐる	3 ゲームをやめられない原因を考える。	・自分の意志の弱さでやめられない以外にも、ゲームには、集中させる仕組みがあることを知る。	題材を児童に分かる言葉に置き換えて、本時のめあてとして提示した例。		
	4 ゲームのやり過ぎによる体への影響を知る。	・ルールを守ってゲームを利用することの大切さを説明する。	・視力の低下や睡眠不足が学力にも影響することなどを説明する。	床への影響に関する提示資料	

TTで行う場合は、指導上の留意点の欄において、T1,T2の役割を明確に示すことも考えられる。
また、題材を児童に分かる言葉に置き換えて、本時のめあてとして示すことも考えられる。

学級活動（２）の本時の展開における教師の指導計画例

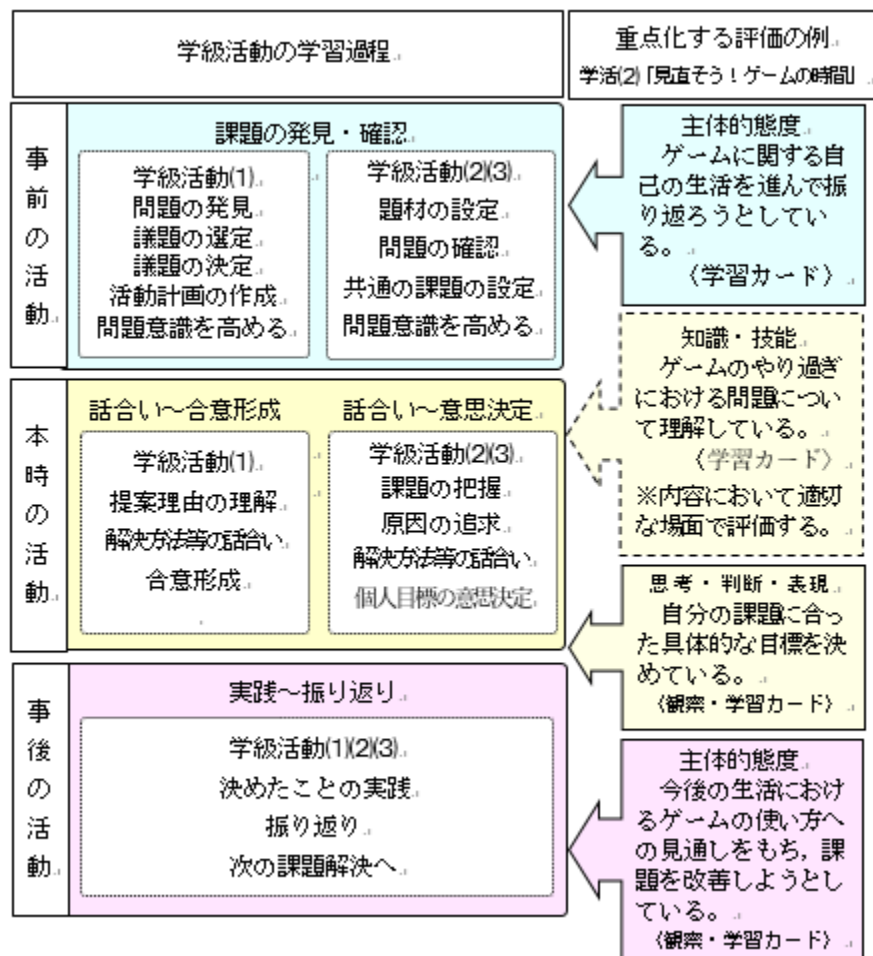
見つける (25)分	5 ゲームのやり過ぎを改善する方法について話し合う。	・やりすぎないようにするにはどのようにすればよいか、自分の経験を想起したり、友達との工夫を開いたりして、具体的な方法を考えられるようにする。	 話し合いをする児童の様子。 「十分満足できる活動の状況」を的確に見取るため、評価規準をもとに具体的な児童の姿を想定していくつか記述する。	◎ どうしたらゲームのやり過ぎを改善できるのかを考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
終末 決める (10)分	6 これからの生活におけるゲームの約束について、個人目標を決める。（意思決定）	・話し合いの結果を参考に、自分に合った具体的な目標になるよう、助言する。 ・数名に発表してもらい、目標の修正や実践の参考にできるようにする。	・机間指導を行い必要に応じて具体性のある目標が立てられるよう助言する。 学習カード	◎ 自分の課題に合った具体的な目標を決めている。 【思考・判断・表現】 〈学習カード〉 【努力を要する活動の状況と判断される場合】 児童の家庭での様子を聞きながら、板書に掲示してある具体的な方法や友達の発表を参考に目標を設定するよう助言する。

話し合いを生かして、自分に合った具体的な目標を意思決定できるようにすることから、【思考・判断・表現】の観点について重点的に評価することが考えられる。
具体的な「目指す児童の姿」を複数設定し、「十分満足できる活動の状況」であるかどうかを的確に見取ることができるようにする。

7 事後の指導

日時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○月○日 ()～ ○月○日 ()	自分の立てた目標や取組について振り返る。	・事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取組になるように助言する。	◎ 今後の生活におけるゲームの使い方への見直しをもち、課題を改善しようとしている。 【主体的態度】〈学習カード〉
○月○日 ()	保護者の思いを知る。	・朝の会等で、保護者の感想を知る機会を設け、実践の継続化を図る。	

学習過程の活動に即して評価の観点を重点化した例



児童の委員会活動カードを参考にして評価する例

〔資料①〕 児童の委員会活動カード及び学級担任に評価結果を伝える資料

〔自己評価〕

委員会活動について自己評価をすることで、児童自身の自己評価の力を高める。

【主体的態度】

自他の取組や実践を振り返り、工夫して活動に取り組んだり、役割や責任を果たして取り組んでいる様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

学級担任は委員会の担当教師の評価を確認後、活動ノートから切り離し、活動ノートのみを児童に返却する。

(保 健)委員会		6年1組 名前(〇〇〇)		担当の先生(〇〇〇)	
委員会の目標		全校のみんなが健康で元気に過ごせるような活動をする			
自分のめあて		委員長としてみんなをリードできるように一生懸命にがんばる。			
月	活動内容	する する する する する	進んで活動	協力して活動	工夫して活動
4月	〇保健委員会の計画や運営 ・活動計画 ・役割分担	◎	◎	◎	◎
5月	〇歯みがきの正しいやり方を全校に伝えるための計画	◎	◎	◎	◎
1年間を振り返って		学校のみんなが健康にすごすことができるように、いろいろなことを考えて、工夫した活動することができました。 3学期はインフルエンザの人が多かったので、手洗いやうがいをしてしっかりやってもらえるように声をかけました。声をかけたら「ありがとう」って言ってもらえるのがうれしかった。保健委員会に入ってよかったです。			
		積極的に委員会のみんなに声をかけながら活動できました。毎週、忘れずにトイレの見まわりをしていました。委員長として、責任をもって取り組む姿勢は、大変立派でした。			
切り取り線					
6年1組		名前		〇〇〇	
(保健)委員会		役割		委員長	
				◎	

月ごとだけでなく、学期ごとに振り返ることも考えられる。

児童の委員会活動カード及び、委員会活動カードを活用して、学級担任に評価結果を伝える資料の例

【思考・判断・表現】

歯みがきを楽しく取り組んでもらうための活動を考えている様子から、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

〇をつけた根拠を簡潔に記入し、学級担任に伝えることができるようにする。

学習カードを活用した評価例

5年生 学級活動(3)「6年生に向けて」学習カード

1月 9日 5年 1組

★6年生に向けて、自分たちに必要なことは、どんなことだろうか。

たてわり活動も引きついたし、6年生になっていくにあたって、下級生にやさしくすることや「大事な」と思いますが、知っている子にはやさしくできているけど、かわい。たこと知らない子には、やさしくすることや「できていないと思うので」ます。いろいろな人と、自分から積極的にかわい。ていくことが「大事な」と思っています。

〇めあて～6年生に連続するために、学年末までに自分が努力することを書きましよう。

朝、下級生にも、自分から進んで「あいさつする!!」

★めあてに対する自分の思い!!

下級生に自分から積極的にかわい。ていくには、あいさつが大切だと思いました。あいさつをされていねな人はいないと思うし、明るくあいさつできる6年生になりたいです。下級生にやさしくするための第一歩は笑顔であいさつしたいです。

★月ごとに実践を振り返りましよう。

1月 (◎◎△)	2月 (◎◎◎)	3月 (◎◎△)
あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。	2月は、いろいろなとこで、あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。	3月は、いろいろなとこで、あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。

★実践を振り返って

あいさつを覚えてくれて、いねな、笑顔であいさつを返してくれるのでうれしくてです。6年生になら、1年生のお世話をするので、笑顔のすてきなお姉さんになれたらいいな、と思います。なぜなら1年生の時にお世話になったお姉さんのやさしい笑顔が、

先生から、中から、すてきなお姉さんになれたらいいな、と思います。あついている身には、自分から進んで「あいさつ」できた、知らないおはようびをくれたので、挑戦したので6年生にならなくていいです。

この学習カードを「キャリア・パスポート」とすることも考えられる。

知識・技能の評価をする場合は、「自分たちに必要なこと」の記述から、よりよい自分へ向けて努力していく意義の理解等を見取ることも考えられる。

【思考・判断・表現】

「自分から進んであいさつをする」と、具体的な行動目標を意思決定することができていると考えられる。また、下級生と積極的に関わるための方法として笑顔であいさつをすることが大切であると考えていることから、十分満足できる活動の状況であると考えられる。

【思考・判断・表現】

学級活動(3)のAにおいては、実践期間が比較的長くなることも考えられる。そこで、

学習カードを活用して、評価の参考にすることも考えられる。

おわりに

児童が自信をもったり、意欲を高めたりすることにつながる評価となるようにする。



○児童一人一人のよい点や進捗の状況などよさや可能性を積極的に評価する。

○「十分満足できる活動の状況」とは「児童のどのような姿」を指すのかを検討し、学校全体で共通理解を図る。

児童のよさや進歩の状況などをどのように捉えるかなどについて共通理解を図るとともに、教師相互の話し合いや情報交換を積極的に行うなど、学校全体で組織的、計画的に行うことが大切である。

新学習指導要領に対応した学習評価 (小学校 特別活動)

文部科学省 初等中等教育局
教育課程課教科調査官

安部恭子